

平成26年度学校目標

| 学校目標 | 取組の内容 | |
|--|---|---|
| | 具体的な手立て | 評価の観点 |
| <p><教育課程> (1)幅広い学習ニーズに対応する教育の展開</p> | <p>(1)①工業高校としての特色を生かした教育課程を編成するとともに、実習や課題研究などの『ものづくり』関連授業において選択の幅を広げるなど、生徒の学習ニーズに対応した教科指導を推進する。 ②各種資格試験の指導を朝や放課後の補習などにおいて推進し、取得を支援する。</p> | <p>(1)・工業高校の特色を生かした教育課程の編成、また運用ができたか。 ・資格取得のための情報提供及び受験指導の実施状況。 ・生徒の活動状況や成果及びアンケート調査結果等の分析。</p> |
| <p><生徒指導・支援> (1)ものづくりを通しての人づくり教育の充実 (2)生徒一人ひとりに応じた教育支援体制の確立</p> | <p>(1)①あいさつや遅刻指導、頭髪・服装などの『身だしなみ指導』、及び生徒の登下校時や昼休みなど、全職員による校内外巡視指導を、年間を通して継続的に実施する。 ②ものづくりの授業を通してあいさつや身だしなみ等の指導を行い、同時にものづくりの楽しさを実感させる。 (2)①生命の尊重、他者への思いやりなどの道徳性を養い、生徒一人ひとりのニーズに応じた教育相談体制を確立する。 ②教職員一丸となった生徒指導により、基本的生活習慣の確立と調和のとれた人間の育成を図り、規範意識やモラル向上に努める。</p> | <p>(1)・身だしなみ指導や校内外巡視指導の取組状況。 ・生徒の活動状況や成果及びアンケート調査結果等の分析。 (2)・ケース会議の実施及び教育相談コーディネーター・スクールカウンセラーの活動状況。 ・職員の共通理解と日常的な生徒指導の実践状況。</p> |

| | | |
|---|--|--|
| <p><学習指導・授業改善></p> <p>(1) 確かな学力の定着と学習習慣の確立及び学習意欲の向上</p> | <p>(1) ①・「学びなおし」により基礎学力の定着をはかり、生徒一人ひとりの学習意欲を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかる授業をめざし、授業改善に向けて組織的に取り組む。 ・計画的な行事運営により、授業時間の確保に努める。 ・計画的に啓発講習等を企画し、学習習慣を見直すことで学習意欲の向上を図る。 <p>② 興味・関心の持てる教材やエピソードを準備し、必要に応じて復習を取り入れながら基礎学力の定着を図る。また、プリント等を用いて作業をする力・考える力を育成する授業展開をめざす。</p> <p>③ 習熟度別クラス編成の利点を活用し、学力に応じた授業展開を行うことにより、基礎学力の定着と応用力の向上を図る。</p> <p>④ 自ら楽しく体を動かすことができるように少人数授業・選択授業を取り入れる。意欲関心を高め、ゲームの運営ができるようにする。また、自らの健康や環境問題に積極的に取り組む姿勢を育てる。</p> <p>⑤ 家庭や家族の意義について、主体的に考え学ぶことができるよう指導する。また、生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得させる。</p> | <p>(1) ・テスト結果分析による基礎学力の定着状況。生徒による授業評価の実施状況と具体的な授業改善策状況。効率的な日程計画により授業時間が確保できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況やノート・プリント作業などの内容、定期試験による習得状況。 ・数学的な見方や考え方および数理的処理能力の習得状況。 ・出席状況と学習態度の結果。技能の上達や公正なゲームの運営ができたか。また、健康におけるさまざまな問題を解決し、関心を持って取り組むことができたか。 ・自らの生活を省みることができたか。またそこから課題を見つけ主体的に改善することができたか。 |
| <p><キャリア教育></p> <p>(1) 豊かな人間性と社会性の育成</p> | <p>(1) ①部活動加入率を現状より上げる。その延長線上でさまざまな大会や発表会での成果を積み上げ、地道に努力する精神を養う。生徒会役員の自主的活動を促す。</p> <p>② インターンシップなどの機会を活用してキャリア教育の実践を進め、主体的な進路選択に向けた指導の推進を図る。</p> <p>③ 工業各科・各学年団と連携して、生徒の進路希望に即したきめ細かいガイダンス、説明会を各学年実施する。</p> <p>④ 実習の中でキャリア教育に関する指導を行う。また、各学年で工場見学を実施し、就業意識を高める指導を行う。</p> | <p>(1) ・部活動加入率。生徒会の活動状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップへの生徒の参加状況。生徒の進路決定状況。 ・ガイダンス、説明会の実施状況。 ・キャリア教育の実施状況。工場見学の実施状況と生徒向けアンケート。 |
| <p><地域等連携></p> <p>(1) 開かれた学校づくりと広報活動の充実</p> | <p>(1) ① 生徒会や部活動の生徒を中心に、地域の自治体と連携をとりながら、いろいろな活動を充実させる。</p> <p>② 工業高校である本校の特性を活かした地域貢献および教育活動の PR を、親子ものづくり教室や夏休み体験学習会を通じて推進する。</p> <p>③ オープンスクールや各種説明会などを HP などでもアピールし、説明会の参加者を増やし、受検者数を増やす。</p> | <p>(1) ・地域貢献活動の実施状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ものづくり教室、および体験学習会での参加者へのアンケート結果の分析。 ・HP のアクセス件数。オープンスクールや各種説明会の参加者数。 |

| | | |
|---|---|---|
| <p><学校運営・学校管理></p> <p>(1)安心安全な環境づくり</p> <p>(2)特別活動の充実</p> | <p>(1)①防災体制を確立・維持する。安全指導と快適な教育環境を整備する。事故・不祥事の未然防止や早期発見、早期解決に努める。 ②安全安心な実習授業の実施に向けた、工業関連施設設備の整備。</p> <p>(2)①キャリア教育・地域貢献・クラスの親睦・道徳教育・学びなおし等をバランスよく組み入れる。 ②城北祭（文化祭・体育の部）、遠足などの行事に当たっては、安全面に十分な配慮を払う。また、こうした行事を通して、生徒間の交流を深め、社会性を育み、楽しく、安心できる学校生活を目指す。 ③集団行動や共同生活の体験をとおして高校生として望ましい態度や習慣を身につける。</p> | <p>(1)・防災訓練(地域・校内)の実施状況。 ・校内の教育環境の整備と早期の対策状況、集合時間を守り、安全で有意義な行事にできたか。 ・重大事故・不祥事等の発生件数。</p> <p>(2)・年間を通して計画的にLHRを取り入れる事ができたか。 ・行事の目的を理解しそれぞれの役割を果たし、交流を深めることができたか。 ・充実した計画を立て安全面や社会性を養うことができたか。</p> |
| <p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <p>(教育目標)</p> <p>(1)中学校における教育の成果をさらに発展拡充させて、国家及び社会の有為な形成者として必要な資質を養うこと。 (2)社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な技能の習熟に努めること。 (3)社会についての深い理解と健全な批判力を養い、個性の確立に努めること。</p> <p>(教育方針)</p> <p>(1)基本的な知識・技能を習得し、工業技術の科学的根拠を理解する。 (2)工業技術の進歩発展に寄与する能力を得るため、常に新たなる独創力を養うように努める。 (3)体力の増進に励み、規律ある礼儀正しい生活の実践に努める。 (4)協同して責任ある行動をする態度及び勤労に対する正しい信念を培い、工業人としての自覚を養う。</p> | | |